

平成25年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号

1	4	6	0	3
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学

3. 研究種目名 特別研究員奨励費 4. 研究期間 平成25年度～平成25年度

5. 課題番号

2	5	・	9	6	4	5
---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名 非英語母語話者作文に対する頑健な解析手法と英語論文自動添削への応用に関する研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
	サカグチ ケイスケ 坂口 慶祐	情報科学研究科	特別研究員 (DC1)

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

特別研究員としての期間、以下の主に2つの課題に取り組んだ。

1. 英語学習者に対する多肢選択問題の自動生成
 本課題では、英語学習者の語彙知識を測定するための多肢選択問題を自動で生成する新しい方法を提案した。具体的には英語学習者の作文コーパス（データ）である Lang-8 コーパスから、実際に学習者が間違えた単語対をもとに、文脈に応じた錯乱肢（正解ではないが学習者を惑わせる選択肢）を抽出するという方法である。
 生成された問題に対する客観的な評価指標である「信頼性（複数の正答が生成されないこと）」及び「妥当性（学習者の英語能力に応じた正答率になること）」において、提案手法は従来手法に比べて高くなることを示した。
 この成果は、計算言語学・自然言語処理分野での国際会議である Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics に採択された。（採択率 24%）

2. 外国語学習者作文に対する誤り訂正および、学習者の母語推定
 上記1と並行して、外国語学習者作文に対する誤り訂正および、学習者の母語推定に関する課題にも取り組んだ。それらの成果については下記の通り国際ワークショップ（2件）へ共著として貢献した。
 以上のような取り組みを行って来たが、これらは本研究課題である「非英語母語話者作文に対する頑健な解析手法と英語論文自動添削への応用に関する研究」の一部分に過ぎず、現状で十分な成果が出ているとは言えない。本課題については、学振辞退後も留学先において引き続き自身の研究課題の1つとして継続していく予定であり、今後の進展を見守っていただければ幸いである。

10. キーワード

- (1) 英語学習者支援 (2) 自然言語処理 (3) (4)
 (5) (6) (7)

(注)・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷し、左端を糊付けすること。

(8)

11. 現在までの達成度

下欄には、交付申請書に記載した「研究の目的」の達成度について、以下の区分により自己点検による評価を行い、その理由を簡潔に記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。
<区分>①当初の計画以上に進展している。②おおむね順調に進展している。③やや遅れている。④遅れている。

(区分)
(理由) 海外留学のため9月1日付で学振特別研究員を辞退したため、記入しない。

12. 今後の研究の推進方策

本研究課題の今後の推進方策について簡潔に記述すること。研究計画の変更あるいは研究を遂行する上での問題点があれば、その対応策なども記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

海外留学のため9月1日付で学振特別研究員を辞退したため、記入しない。

13. 研究発表（平成25年度の研究成果）

※ 「13. 研究発表」欄及び「14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄において記入欄が不足する場合には、適宜記入欄を挿入し、それによりページ数が増加した場合は、左端を糊付けすること。

〔雑誌論文〕 計（ 0 ）件 うち査読付論文 計（ 0 ）件

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）				

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）				

著者名	論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
掲載論文の DOI（デジタルオブジェクト識別子）				

(注)・印刷に当たっては、A4判（縦長）・両面印刷し、左端を糊付けすること。

〔学会発表〕計（ 1 ）件 うち招待講演 計（ 0 ）件

発表者名	発表標題	
Keisuke Sakaguchi, Yuki Arase, Mamoru Komachi	Discriminative Approach to Fill-in-the-Blank Quiz Generation for Language Learners.	
学会等名	発表年月日	発表場所
51st Annual Meeting of the Association for Computational Linguistics	2013年8月4日	ブルガリア、ソフィア

〔図書〕計（ 0 ）件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕計（ 0 ）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕計（ 0 ）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--